

# けい酸カルシウム板面

## 18章9節:合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ハイライト#800 (標準仕様)

公共仕様No.  
DNT-新設・9-5-05

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント	ハイライト#800	F☆☆☆☆	水道水

### 塗装仕様

表18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面(けい酸カルシウム板面)の素地ごしらえ【A種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 乾燥	—			継目処理部分を十分に乾燥させる。
2 汚れ、付着物除去	—			素地を傷つけないように除去する。
3 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー 【弊社推奨商品】 ・マイティーエポシーラークリヤー ・マイティー万能エポシーラークリヤー	—	全面に塗る。
4 穴埋め、 パテかい	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	一般形	釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。
	JIS A 6914	せっこうボード用目地処理材	ジョイント コンパウンド	
5 研磨紙ずり	研磨紙P120～220			パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。
6 パテしごき	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	一般形	全面にパテをしごき取り平滑にする。
	JIS A 6914	せっこうボード用目地処理材	ジョイント コンパウンド	
7 研磨紙ずり	研磨紙P120～220			パテ乾燥後、全面を平らに研磨する。

- (注) 1. 屋外及び水回り部の場合は、工程4及び工程6の合成樹脂エマルジョンパテは、塗料製造所の指定するものとする。  
2. 工程4及び工程6のせっこうボード用目地処理材は、素地がせっこうボードの場合に適用する。  
3. けい酸カルシウム板の場合は、工程4の前に吸込止めとしてJASS18 M-201による塗料を全面に塗る。  
4. 仕上材が仕上塗材の場合は、パテは、仕上塗材製造所の指定するものとする。  
5. 仕上材が壁紙の場合は、パテは壁紙専用のものとする。

表18.9.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	水性マイティー シーラーマルチ	透明なブルー クリヤー	—	無希釈	刷毛 ローラー	0.07	2時間以上
					スプレー		
2 中塗り (1回目)	ハイライト#800	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				5～15	スプレー		
3 研磨紙ずり	研磨紙P220～240						清掃後
4 中塗り (2回目)	ハイライト#800	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				5～15	スプレー		
5 上塗り	ハイライト#800	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.10	—
				5～15	スプレー		

(注) 1. 素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。

#### 18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ

せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえは表18.2.7により、種別は特記による。  
特記がなければ、せっこうボードの目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種とする。

#### 18.9.2 せっこうボード面及びその他ボード面合成樹脂エマルジョンペイント塗り

合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表18.9.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。  
なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

#### 注意事項

\* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。